

ワークショップとは？

まちづくりを進めるなかで、集落の皆さんが集まって、問題・課題を明らかにし、その解決の方策を話し合うことです。その一手法にワークショップというものがあります。

従来の「寄り合い」と「ワークショップの違い」

区分	従来の寄り合い	ワークショップ
出席者	1世帯1人が通常で、女性が少なく、子供はいない。	1世帯から誰でも何人でも参加してよい。女性、子供も多く参加。
雰囲気	意見を言いにくい	誰でも自由に意見を言いやすいよう工夫されている。
合意形成	一部で出されている結論に誘導されることがある。	その場の話し合いの中で、合意形成がされてゆく。

元気な集落

① 皆の意見・考えを聞くことができます。

※お渡ししたポストイット（付箋）に自分の意見を書きます。



③ 問題・課題が見えてきます。



② 皆の意見・考えを整理できます。

※意見・考えを書いたポストイットを紙などに張って、同類に分けます。



〔指標〕

1. 安全：命は守られているか
2. 安心：支えあう仕組みはあるか
3. 安楽：楽しみや親睦の機会と場があるか
4. 安定：暮らしに必要な金は稼げるか
5. 誇り：自分の地域に誇りを持っているか
6. 元気：むらは元気があるか

◆問い合わせ先 企画情報課

☎ 0859・54・5202